武　一　中

令和４年６月２１日
武蔵野市立第一中学校
学校だよりＲ４－５号

URL:http://dai1-jh.musashino-city.ed.jp/

仕事との出会い

校　長　　中嶋　建一郎

修学旅行で３年生と共に訪れた奈良の法輪寺でお坊さんから話を聞く機会がありました。落雷により焼失した三重塔を作家の幸田文さんが中心となり 1975 年に復元したそうです。再建現場には修学旅行で法隆寺を見て宮大工になった栃木県出身の方がいたという話が特に印象に残りました。修学旅行から帰った次の日、朝刊の小さな見出しに目がとまりました。「宮大工の棟梁、知恵と技紹介」。八王子市在住の吉川さんという宮大工の棟梁が仕事展を開催する記事でした。現在 70 歳の吉川さんは、中学の修学旅行で見た法隆寺や薬師寺に感動し、15 歳で大工の道に進み、25 歳で独立し、高尾山薬王院などの社寺建築を手がけてきたそうです。法隆寺の美しさには人を惹きつける力があるのですね。

修学旅行をきっかけに自分の進む道をみつけた人は、私の教え子にもいました。修学旅行で兵庫県の宝塚市にある「宝塚歌劇団」を観劇したことがあります。卒業後 10 年以上経ち、その教え子に会ったときに聞きました。宝塚の舞台に魅せられて、演劇の世界に入ったそうです。演劇に関する専門学校に行き、舞台装置や照明などの裏方と呼ばれる仕事に就いたということでした。感受性の強い時期の出会いは人生に大きな影響がありそうです。

職場体験もその一つでしょう。３年生は、昨年、職場体験はできませんでしたが、職業講話ということで６名の方から話を聞きました。その仕事の面白さや、やりがいなどを知ることができました。２年生は、２学期に職場体験を予定しています。この体験で将来を決める出会いがあるかもしれませんし、そこまでいかなくても「この仕事、なかなか面白いなぁ」と興味をもつことができるかもしれません。

皆さんには様々な場面で「仕事」という視点をもってほしいと思っています。普段出会う人たち、塾の先生、店員さんなどを見て、接して、自分にこの仕事はできそうかな、面白そうかな、と考えるだけで良いです。学校の中だと、先生、事務さん、用務さん、スクールカウンセラーの先生など多くの方が関わっています。１年生は、セカンドスクールで訪れる白馬でも様々な職業の方に出会えると思います。

「まだ仕事のことは考えられない」という人もいるでしょう。大学教授の児美川孝一郎さんが書いた「夢があふれる社会に希望はあるか」という本には、「夢は、あったほうが良いけれど、なくても良いですよ」ということが書かれています。興味のある人は読んでみてください。

（２１日（火）放送朝礼より）